

近 畿 圏
近郊整備区域建設計画
都市開発区域建設計画
(案) [要旨]

平成 13 年 10 月
福井県、三重県、滋賀県、京都府、
大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

目 次

(頁)

1. 福井敦賀区域都市開発区域建設計画（福井県）	1
2. 伊賀区域都市開発区域建設計画（三重県）	3
3. 琵琶湖東部区域都市開発区域建設計画（滋賀県）	5
4. 京都地区近郊整備区域建設計画（京都府）	7
5. 京都中丹区域都市開発区域建設計画（京都府）	9
6. 大阪地区近郊整備区域建設計画（大阪府）	11
7. 兵庫地区近郊整備区域建設計画（兵庫県）	13
8. 播磨区域都市開発区域建設計画（兵庫県）	15
9. 奈良地区近郊整備区域建設計画（奈良県）	17
10. 和歌山区域都市開発区域建設計画（和歌山県）	19

(計 画 名)	福井敦賀区域都市開発区域建設計画 (案)
(策 定 主 体)	福 井 県
(計画の基本的方向) 「生活満足度日本一・地球時代に光り輝く福井県」の基本目標のもと、当区域において「個性ある地域づくり」、「交流と連携による地域づくり」を進める。 (1) 日本海国土軸の形成 北陸新幹線、近畿自動車道敦賀線、中部縦貫自動車道および地域高規格道路の建設等の高速交通体系の整備をはじめ、福井空港の調査・検討、一般国道や港湾、嶺南地域における鉄道網の整備等総合的な交通体系の整備の推進 (2) 地域づくりや交流の推進 ・ 地理的特性を活かした環日本海地域やアジア地域との交流の積極的推進 ・ 地域資源と結びついた特色ある地域づくりやこれを核とした他地域との交流、連携の推進 ・ 福井、鯖江、武生による「連合都市圏構想」に基づく高次都市機能の充実 (3) 「科学技術創造立県」をめざした科学技術の振興 ・ I T革命への積極的対応 ・ これまで蓄積してきた技術等、本県産業が有する特性や優位性を最大限に活かし、今後成長が期待される分野を中心とした新たな産業の創出 (4) 農林水産業の振興 ・ 農業―「新しい福井型農業・農村の展開」として、一層の省力化、低コスト化の推進や稲作偏重からの転換、担い手の育成 ・ 林業―林業生産体制の整備とともに、県産材の需要の拡大、森林、林業を支える山村の活性化 ・ 水産業―「つくり育てる漁業」の推進 (5) 高付加価値産業への変革 ・ デザインを重視し、福井県デザインセンターの充実強化やデザイン教育の充実による人材の育成、デザインマインドの向上 ・ 活力ある地域産業集積の形成に向け、産学官の連携、協力の下、保有する技術、ノウハウを活用した新たな事業分野を開拓する取組みの促進 ・ 高度情報通信ネットワーク社会における、民間、行政が一体となった企業の情報化のための促進策の展開 (6) 滞在型観光の振興 ・ 都市と連携した観光地を目指したイベントやコンベンションの開催 ・ 滞在型観光の振興を図るための新たな観光ルートの開発 (7) 活力とやすらぎのある県民生活の実現 ・ 循環型社会の構築など環境と調和した社会づくり ・ 生きがいと活力に満ちた福祉社会の実現 ・ 災害等に強い安心で安全な社会づくり	

(地域別の基本的方向)

(1) 福井・坂井地域

- ・ 福井駅周辺の整備による中心市街地の活性化
- ・ 魅力ある産業立地地域を目指すための交通体系の整備

(2) 武生・鯖江地域

- ・ 産業の振興と個性豊かなまちづくりの推進のための工芸の里構想やファッションタウン構想の推進
- ・ “ハイテク・ルネッサンス”産業文化都市圏の創造

(3) 敦賀地域

- ・ 交通体系の整備による物流ネットワークの中核地域の構築、および産業団地の整備
- ・ 若狭湾エネルギー研究センターを中核にした共同研究の推進や交流ネットワークの構築、および地域産業の支援と経済に波及効果のある産業の誘致

(主要フレーム)

(単位：千人、%)

	1 2 年	1 7 年
人 口	6 2 6	6 3 0
就 業 者	3 4 2 (100.0)	3 4 8 (100.0)
1 次	1 9 (5.6)	1 7 (4.9)
2 次	1 3 0 (38.0)	1 3 3 (38.2)
3 次	1 9 3 (56.4)	1 9 8 (56.9)

(主要事業)

宅 地：テクノポート福井や産業団地等の造成の推進

福井市中心部等市街地再開発事業の推進

道 路：近畿自動車道敦賀線、中部縦貫自動車道の整備

福井港丸岡インター連絡道路、福井外環状道路の調査の推進

福井駅付近連続立体交差事業の推進

鉄軌道：北陸新幹線の整備

今津・上中新線建設および敦賀～長浜・近江塩津～永原間の直流化等の
嶺南地域における鉄道網の整備検討

港 湾：福井港、敦賀港の整備

空 港：福井空港の調査・検討

河川等：足羽川ダム、九頭竜川鳴鹿大堰、日野川流域水資源総合開発事業の推進

教育文化施設：県立大学看護福祉系大学院の設置準備

新県立図書館の建設

その他：福井県情報スーパーハイウェイ（仮称）の整備

県立総合医療センター（仮称）の整備

(計画名)	伊賀区域都市開発区域建設計画(案)
(策定主体)	三重県
(計画の基本的方向) (目標とする社会や生活の姿) (1) 区域内外の産業集積、研究開発集積との交流・連携を推進し、新規、成長産業の創出や既存産業の高度化を進める等産業振興を図る。また、優れた歴史文化資源を適切に保全し、これらを生かした地域の活性化を図る。さらに、豊かな自然の保全と再生を図るとともに、自然や歴史文化と調和した安全で潤いのある生活空間の創造を図る。 これにより、質の高い暮らしが創造できる個性的で魅力的な一体性のある地域の形成を目指す。 (京滋奈三広域交流圏の形成) (2) また、京都、滋賀、奈良の三府県とまたがる「京滋奈三地域」として、我が国固有の歴史的、文化的資源や豊かな自然環境を生かした文化の創造を基調とする広域交流圏づくりを進めていく。 (情報発信力の強化) (3) こうした取り組みを、行政、地域住民、NPO、事業者等が連携、協働し、隣接する地域や京阪神大都市地域をはじめ近畿圏の各地域に積極的に情報発信しながら、交流・連携を活発化させ、個性ある核として、近畿圏の発展に寄与する役割を担っていく。 (歴史文化資源を活かした地域の活性化) (4) 歴史的町並みや伝統工芸等を地域資源として活かす取り組みとして、「伊賀まちかど博物館」を生かした地域づくりや、俳聖松尾芭蕉のふるさととして、芭蕉生誕360年(平成16年)を契機に地域が一体となって広域的イベントを開催する等の俳句を生かした地域づくりを推進する。 (流域圏づくりの推進) (5) 木津川流域において、上下流が一体となり、行政、住民、事業者等の各主体が連携し、水質向上、景観の保全、生態系の回復等多様な課題の解決に向けた取り組みを推進する。 (環境への負荷の少ない社会の実現) (6) 循環を基調とした環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を図るため、RDF(ごみ固形燃料)化を進めるとともに、地域住民、事業者、行政における環境管理システムISO14001の認証取得を促進する。 (情報通信基盤の整備) (7) 高速情報化社会を実現するため、光ファイバー網の整備やケーブルテレビのサービスエリアの拡大、県内他ケーブルテレビ局とのネットワーク化等多様な高度情報通信基盤の整備を図る。	

(安全で快適な生活空間の形成)

- (8) 安全で快適な生活を実現するため、防災性の向上を図るとともに、良質な住宅の供給、都市住宅や下水道等の生活環境の整備を推進する。さらに、すべての住民が自由に行動し、安全で快適に生活できるよう施設の整備等バリアフリー化を推進する。

(「地産地消」の推進)

- (9) 地域で生産される農林産物を地域で消費するという「地産地消」に取り組み、安全で安心できる食料の安定的な供給を図るとともに、住民の健康づくり、食料自給率の向上、地域の環境保全や活性化につなげていく。

(主要フレーム)

(単位：千人、%)

	12年	17年
人口 (伸率)	170	178 (4.7)
就業者	76 (100.0)	77 (100.0)
1次	5 (6.6)	4 (5.2)
2次	33 (42.9)	33 (42.4)
3次	38 (50.5)	40 (52.4)

(主要事業)

- ・道路：名神名阪連絡道路の調査
- ・鉄軌道：中央新幹線の実現に向けた検討
西日本旅客鉄道関西本線の輸送改善や今後の整備についての検討
近畿日本鉄道大阪線及び同伊賀線の輸送サービス等の向上に向けた検討
- ・通信施設：青山町、島ヶ原村、伊賀町、阿山町、大山田村のCATV事業
- ・水道：伊賀水道用水供給事業
- ・ダム等：川上ダム、上野遊水地

(計 画 名)	琵琶湖東部区域都市開発区域建設計画（案）
(策定主体)	滋 賀 県
(計画の基本的方向) 自然と人との共生、エコロジーとエコノミーの両立を柱とし、暮らしに心から豊かさを実感できる地域づくりを目標として開発・整備を進める。 (1) 中枢管理機能を備えた企業および特性を生かした産業の育成 ・ 中枢管理部門を備えた先端技術・研究開発型企業の導入 ・ 環境、健康・福祉、観光など本県の特性を生かした新しい産業の育成 ・ 農林水産業における高付加価値化等による生産性・市場性の向上 (2) 活力ある県土基盤の形成～広域交通体系の整備・魅力ある地域整備・広域連携の推進 ・ 高速交通網の整備や高度情報通信基盤の整備 ・ 大学・研究機関の整備や誘致などによる学術文化機能の強化、自然環境や歴史文化遺産を活かした観光・リゾート施策の推進 ・ 効果的、効率的な地域経営のための県域を超えた広域連携の推進 (3) 琵琶湖の総合保全 ・ 水質の保全、水源のかん養、自然的環境の保全等総合的施策の実施 (地域別の基本的方向) (1) 南部地域における基本的方向 ・ 琵琶湖南部の都市部や甲賀地域における、第二名神高速道路の建設、東海道新幹線（仮称）びわこ栗東駅、在来線の新駅の設置等の検討 ・ 中枢管理部門を備えた企業や新たな産業を育成し、学術・文化・産業の中枢都市圏を形成 ・ 地域農業の振興に努め、都市部に隣接した貴重な観光・リゾート・レクリエーションゾーンとして魅力ある活用 (2) 中部地域における基本的方向 ・ 近江八幡市、八日市市を中心に、優良な住宅地や業務地の創出を図り、周辺地域と有機的に連携した個性ある地方拠点都市地域の形成 ・ 第二名神高速道路等の広域交通体系の整備等により、高速・広域交通の	

拠点をめざす

- ・土地利用型農業の推進と合わせ、複合農業の展開を図るとともに、優れた歴史文化遺産を活用し、滞在型の観光リゾート拠点を形成

(3) 北部地域における基本的方向

- ・商業・業務機能や学術・文化機能の集積を図り、都市サービス機能を集積した広域的な地方拠点都市地域の形成
- ・琵琶湖環状運行の実現に向けた検討
- ・土地利用型農業の展開に加え、特産物の育成を図るとともに、自然と歴史文化のふれあうリゾート拠点としての整備

(主要フレーム)

(単位：千人、%)

	平成12年	平成17年
人 口	1, 1 1 8	1, 1 5 7
就業者	5 2 0 (100)	5 4 5 (100)
1 次	2 1 (4.0)	1 9 (3.5)
2 次	2 2 6 (43.5)	2 3 6 (43.3)
3 次	2 7 3 (52.5)	2 9 0 (53.2)

(主要事業)

宅 地 等：びわこサイエンスパーク、（仮称）長浜サイエンスパークの整備
道 路：第二名神高速道路、琵琶湖西縦貫道路、甲賀湖南道路の整備
鉄 軌 道：東海道新幹線（仮称）びわこ栗東駅の設置検討、琵琶湖環状運行の実現検討
港 湾：地方港湾長浜港の整備
空 港：びわこ空港（仮称）の検討
公園緑地：びわこ地球市民の森の整備
琵琶湖水質保全：琵琶湖流域下水道の整備 河川浄化（琵琶湖）の推進
廃棄物循環型社会基盤施設の設置促進
生活排水・農業排水対策（農業集落排水処理施設等）の推進
河 川：大津放水路、草津川、日野川、長命寺川、愛知川、長浜新川の改修
丹生ダム、大戸川ダム、姉川ダム、栗栖ダムの建設
教育文化施設等：県立大学の整備充実

(計 画 名)	京都地区近郊整備区域建設計画（案）
(策定主体)	京 都 府
(計画の基本的方向) 本地域は、人口、産業、都市機能の集積が高く、また、近畿圏における文化、学術及び研究の中核的な機能を担っている地域であることから、そうした産業、都市機能の集積をいかし、さらなる近畿圏における中核的な機能を担えるよう、地域特性に応じた整備を図る。 (地域別の基本的方向) (１) 南丹地域については、環境に配慮した秩序ある都市の形成を促進し、活発な交流により地域の活性化及び産業振興を図っていく。 そのために、ＪＲ山陰本線の複線化等による機能強化や、阪神方面への新たな連絡道路の調査を進め、都市近郊の利点をいかした農林業振興を図るとともに、大都市地域との交流を促進し、地域の豊かな自然環境や地域文化を活用した広域的な交流促進を図る。 (２) 京都・乙訓地域については、交通基盤の整備と連携し、駅周辺の市街地再整備や土地の高度利用化によって、都市機能の再編・集積を図る。 また知的産業インフラを活用し、南山城地域にかけて将来の京都経済を支える地域としてＩＴ産業等の拠点を整備する。 さらに、京都迎賓館、歴史街道計画、淀川河川公園等、文化首都圏としての多様な取組と連携し、豊富な自然・歴史文化資源を保全・活用しながら、都市近郊レクリエーション機能の充実を図る。 (３) 南山城地域については、関西文化学術研究都市において、国立国会図書館関西館（仮称）など中核的な文化学術研究施設の整備を促進し、これを活用するとともに、次世代情報通信網や快適で良好な生活環境、都市基盤施設の一層の整備を図ることにより、多様な生活ニーズ等に対応した２１世紀のパイロットモデル都市にふさわしいまちづくりを推進する。 木津川右岸地域において、関西文化学術研究都市と相互に機能を補完し合う産業、住宅、レクリエーション等の機能を有する都市圏の形成を推進する。	

(主要フレーム)

(単位：千人)

	1 2 年	1 7 年
人 口	1,361	1,387
年少人口	209	208
生産年齢人口	972	954
老年人口	179	225
就業者数	633	633

(主要事業)

宅地等：

関西文化学術研究都市の建設

道路：

高規格幹線道路 第二名神高速道路、中央自動車道西宮線、京都縦貫自動車道

地域高規格道路 第二京阪道路、学研都市連絡道路、洛南連絡道路、京滋バイパス

京都高速道路の整備

京阪連絡道路の調査、学研都市連絡道路の調査、宇治木津線の調査

鉄軌道：

J R山陰本線（京都～園部間）の複線化等の整備の推進

J R奈良線の高速化・複線化等の整備の推進

京都市高速鉄道東西線の整備（六地蔵～醍醐間、二条～天神川間）の推進
烏丸線の南伸及び東西線の西伸（天神川以西）の検討

J R片町線の高速化・複線化等の整備を推進

河川：

桂川、西羽束師川、古川、大谷川、今池川等の河川改修事業の推進

その他：

京都新光悦村、私のしごと館、国立国会図書館関西館、京都大学桂キャンパス

(計 画 名)	京都中丹区域都市開発区域建設計画（案）
(策定主体)	京 都 府
(計画の基本的方向) (１) 環日本海交流の推進 京阪神大都市地域との時間距離の短縮や域内モビリティの向上を図り、また、環日本海時代の到来を視野に入れつつ、舞鶴港、鳥取豊岡宮津自動車道等の整備を進める中で、日本海沿岸の他府県とも有機的な連携を強め環日本海交流の積極的な推進により、地域の活性化を実現していく。 (２) 地方中核都市の形成 本区域内の特色ある４都市が緩やかに連携し、一体的な都市群として地方中核都市にふさわしい高度な商業・業務・サービス機能等を発揮していくことをめざして、国際交流機能、居住・観光レクリエーション機能、生産・物流機能、商業・業務機能など多彩な機能を担う地域として整備し、裾野の広い経済基盤に立脚した北近畿をリードする中核的な都市圏の形成を実現する。 (３) 中心市街地の活性化 商店街の不振等により中心市街地の活力が低下していることに対応するため、中心市街地活性化のための総合的な施策を展開し、にぎわいとうるおいのあるまちづくりを推進する。 (４) 重要港湾舞鶴港の機能充実 国際港湾としての舞鶴港の機能を充実するため、F A Z（輸入促進地域）の施設を生かしたポートセールスの一層の展開を図るとともに、環日本海圏での「人・もの・情報」の交流を通じ、高次都市機能の一環としての国際交流拠点の形成を進める。 (地域別の基本的方向) (１) 福知山市においては、旧来からの商業・流通・業務集積や長田野工業団地を核とした産業の振興を図るとともに、福知山駅の周辺整備や情報通信機能の整備、高度業務機能の集積等を促進し、当地域における商業・業務拠点の整備を図る。	

(2) 舞鶴市においては、環日本海交流拠点として、その核となる舞鶴港の機能高度化を図るとともに、貿易関連の流通業務機能の充実、海洋・海事機能の集積を活かした産業開発等を進め、また、広域的で多分野にわたる交流機能の拡充を図り魅力ある国際交流拠点としての都市づくりを進める。

(3) 綾部市においては、中心市街地の住環境や商業機能の整備を進め都市的魅力を高めるとともに、綾部工業団地等への新たな産業集積を活用した産業振興、広域幹線道路や鉄道の結節点に位置する利点を活かした交通・物流の中継基地としての整備を進める。

(4) 宮津市においては、大手川の改修や市街地整備による都市の活性化を図り、観光・レクリエーション施設の集積によるリゾート整備を進めるとともに、中・長期滞在が可能で四季を通じて自然や都市型リゾートを楽しめる北近畿の総合リゾート拠点としての整備を進める。

(主要フレーム)

(単位：千人)

	1 2 年	1 7 年
人 口	224	222
年少人口	35	34
生産年齢人口	139	135
老年人口	51	54
就業者数	125	125

(主要事業)

道路：

高規格幹線道路 近畿自動車道敦賀線、京都縦貫自動車道

地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道

連続立体交差事業：

福知山駅周辺 J R 山陰本線等連続立体交差事業の推進

港湾：

舞鶴港の整備推進

鉄軌道：

J R 小浜線の電化の推進

(計画名)	大阪地区近郊整備区域建設計画(案)
(策定主体)	大阪府
(基本認識) 高度な都市機能の集積をすすめ、大都市としての魅力を高めることによって、活力ある大阪の再生をめざすとともに、「関西、そして世界の大阪」という視点にたって、関西全体としての発展をリードしていく。 (計画の基本的方向) (1) 多彩な都市拠点の形成 関西国際空港の2本目の滑走路建設がすすむ臨海エリアや大阪市周辺市域に広がる既成市街地などの内陸エリアの交通結節点を中心に、産業・文化・医療・情報など、高度な都市機能の集積を図るとともに、定住の魅力づくりをすすめ、多彩な都市拠点の形成をめざす。 (2) 安心、安全、快適な住まいとまちづくり 身近な生活圏を重視し、誰もが安心、安全、快適にらせる住まいとまちづくりをすすめるとともに、これらの前提となる災害に強く安全なまちづくりを着実にすすめる。 (3) 「連携型地域構造」の形成 府域全体あるいは府域外との交流がより一層促進され、快適で利便性の高い生活を実現するため、交通網や情報網を中心とした身近なまちや拠点相互間の結びつきを生活連携軸として発展させ、臨海部や内陸部などのエリアと生活連携軸が格子状にまじりあい、エリアや生活連携軸の中の拠点多方向に交流しあう「連携型地域構造」の形成をすすめる。 (産業振興への取り組み) 内外市場の需要の変化に対応しつつ、既成都市区域等との調整を図りながら、関西文化学術研究都市や北大阪地域などにおいて、各種産業基盤や高次研究開発拠点の有効活用、先端技術開発等に努めるとともに、地域特性を考慮した産業の振興に取り組んでいく。 (土地の総合的な利用価値の創出) 緑空間の拡大、ゆとり空間や防災拠点としてのオープンスペースの多層化、交通ネットワークの連携など、土地の多面的な利用価値を空間的に拡大、多層化、連携していくとともに、土地利用にメリハリをつけることにより、さらに価値を高め、地域の個性や特徴を活かした利用を促進する。 (豊かな環境の保全と創造) 「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざし、長期的な視点に立ったごみ焼却施設の整備や循環型社会の構築をめざしたりサイクル施設の広域的利用など、生活環境、自然環境、都市環境及び地球環境に関する施策を総合的、計画的にすすめる。	

(災害に強いまちづくり)

災害の発生を未然に予防するため、大阪市周辺における密集市街地の整備や建築物の耐震化・不燃化など、災害に強い都市基盤を計画的に形成するとともに、淀川水系や大和川水系の河川整備等を行い、災害に強いまちづくりをすすめる。

(主要フレーム)

(単位：千人、%)

	12 年	17 年
人 口	5,818	5,821
従業地就業者	2,316(100.0)	2,369(100.0)
1 次	24(1.0)	23(1.0)
2 次	770(33.3)	716(30.2)
3 次	1,522(65.7)	1,630(68.8)

(主要事業)

- ・ 宅地等：和泉中央丘陵の整備、阪南丘陵の整備、りんくうタウンのまちづくり、彩都（国際文化公園都市）の整備
- ・ 道 路：第二名神高速道路の整備、阪神高速道路（大和川線、淀川左岸線）の整備、第二京阪道路の整備、南阪奈道路の整備
第二大阪湾岸道路、京阪連絡道路及び紀淡連絡道路等の構想の推進
- ・ 鉄軌道：国際文化公園都市モノレールの整備、大阪外環状線の整備
- ・ 港 湾：堺泉北港の国際海上コンテナターミナル等の整備、阪南港の多目的国際ターミナル等の整備
- ・ 空 港：関西国際空港 2 期事業の推進
- ・ 公園緑地：淀川河川公園の整備
- ・ 河 川：淀川水系の整備、大和川水系の整備
- ・ ダ ム：安威川ダムの建設
- ・ 住 宅：住道駅南地区の住宅市街地整備総合支援事業の推進
- ・ 研究施設：関西文化学術研究都市への立地促進、北大阪地域におけるライフサイエンス分野の研究開発拠点の形成

(計画名)	兵庫地区近郊整備区域建設計画(案)
(策定主体)	兵 庫 県
(計画の基本的方向) ○震災からの復興 ・阪神・淡路震災復興計画後期5か年推進プログラムのもと、21世紀の成熟社会につなぐ「創造的復興」の推進 ○美しい地域づくり(21世紀兵庫長期ビジョンの基本理念の推進) ・住宅の高質化等による、国際水準の生活居住環境の実現 ・神戸野外CSR施設等の整備による多様な余暇ニーズへの対応 ・「なぎさ海道」事業等を通じた、水辺環境を活かした地域環境の創造 ・歴史街道計画や兵庫歴史文化回廊構想等の推進 ○人間サイズのまちづくり ・中心市街地の再生 ・都市型産業の創造 ・老朽住宅の更新 ・安全・安心のまちづくり(六甲山グリーンベルト整備事業や阪神疎水構想の推進による防災機能の強化、ユニバーサルデザインのまちづくり) ○多核・ネットワーク型都市圏の形成 ・第二名神高速道路等の整備を通じた、地域一体化を図る総合交通体系の構築 ・大阪国際空港広域レールアクセス構想等の具体化による空港アクセスの向上 ・交通需要マネジメント(TDM)の推進 ・環境にやさしい、新しい公共交通システム(LRT等)導入の検討 (地域別の基本的方向) (1)近郊市街地域 ・中心市街地、インナーシティ等の再開発事業の推進による、多様な住宅の供給及び老朽住宅の更新 ・商業施設、ホテル、会議場及び芸術・文化施設等の多彩な集客施設の整備 ・都市型産業のインキューバータ施設の整備及び産業振興と一体となったまちづくりの展開 ・街路、都市公園、下水道などの都市機能の整備 ・まちなみや都市景観の修景・創造、歴史的建造物の再生・活用、文化財の保全 ・公共施設、公共交通のバリアフリー化及び高度医療施設、老人福祉施設、シルバーハウジング等の充実、学校等の公共施設を有効活用した地域コミュニティの拠点づくり	

(2) 副軸整備地域

- ・豊かな自然環境や都市近郊農業との調和のもと、三田、神戸北、神戸西、西宮北部、宝塚北部、猪名川南部などにおける新都市の整備
- ・老朽化の進む既成ニュータウン等における多様な住宅の提供、画一的なまちから多様な魅力に富んだまちへの転換及び業務機能の集積による職住一体・近接型都市としての展開
- ・文化、学術研究、情報通信、交流の機能を通じた、多彩で重厚な知的集積による近畿リサーチ・コンプレックスの独創的な文化と学術研究の拠点づくり
- ・神戸淡路鳴門自動車道と西日本国土軸との連結点という地理的条件を活かした、情報・物流などの広域的交流基盤の整備

(主要フレーム)

(単位：千人)

	12 年	17 年
人 口	1,910	1,967
就 業 者	840	856
1 次	8	8
2 次	246	246
3 次	586	602

(主要事業)

- ・住宅用地：新住宅市街地開発事業－西神・西神第二、北摂
土地区画整理事業－六甲北ニュータウン、西宮北口駅北東震災復興
市街地再開発事業－西宮北口駅北東、仁川駅前、中央北地区、
三田駅前
- ・産業団地：神戸リサーチパーク、西宮名塩ニュータウン、北摂三田テクノパーク、神戸複合産業団地の整備
- ・道 路：第二名神高速道路、阪神高速道路北神戸線、阪神高速道路神戸山手線、神戸西バイパスの整備
名神湾岸連絡線、第二大阪湾岸道路、阪神間南北線、東神戸線、神戸中央線南伸部の調査
- ・鉄軌道：神戸電鉄三田線、神戸電鉄粟生線の複線化推進、
大阪国際空港広域レールアクセス構想、阪神間南北鉄軌道構想の具体化、神戸市営地下鉄西神延伸線の再延伸、阪神モノレールの検討
- ・公 園：国営明石海峡公園、北神戸田園スポーツ公園、県立有馬富士公園、塩瀬中央公園の整備
- ・教育文化施設：神戸野外C S R施設、阪神野外C S R施設の整備

(計画名)	播磨区域都市開発区域建設計画(案)
(策定主体)	兵庫県
(計画の基本的方向) ○美しい地域づくり(21世紀兵庫長期ビジョンの基本理念の推進) ・「流域文化」の理念にもとづく水に親しむ生活文化と地域環境の創造 ・都市と農山村の交流基盤、田園空間の整備 ・美しい都市景観、快適な生活居住空間の創造 ・歴史街道計画や兵庫歴史文化回廊構想等の推進 ○人間サイズのまちづくり ・都市空間の再編整備 ・計画的な市街地整備による無秩序な市街化の抑制 ・公共施設のコミュニティ拠点としての活用 ・広域水道、下水道、街路、公園等の都市基盤整備の促進 ○広域交流の拠点づくり ・山陽自動車道沿線での高次産業拠点の形成による、新たな地域産業クラスターの形成 ・大規模未利用地の活用等による総合的な都市基盤整備 ・港湾物流機能の強化に加え、余暇需要に応じた港湾の多角的な整備 ・中国横断自動車道等幹線交通軸の整備 ・ニーズに応じた効果的な公共交通アクセスの検討 (地域別の基本的方向) (1)東播磨地域 ・教育、文化、高度医療、福祉などの高次都市機能整備の促進 ・土地利用の適正化、駅前業務地区の市街地再開発事業、土地区画整理事業の推進、住工混在地区の解消などによる都市空間の再整備 ・水辺を活かしたレクリエーション空間の形成 ・河川環境を含めた水に親しむ生活文化と地域環境の創造 (2)北播磨地域 ・ひょうご情報公園都市をはじめ、生産、教育、研究、文化、居住等が一体的に整備された多機能複合拠点群の整備 ・既成市街地における、駅前地区等を中心とした再整備の推進及び下水道、公園などの都市基盤整備 ・東播磨流域文化圏構想のもと、河川・ダム湖畔やため池など多様な水辺空間を活かし、水の文化を基軸にした地域整備 (3)中播磨地域 ・西播磨テクノポリス地域の母都市となる姫路市における商業、業務、文化、情報等の都市機能の拡充と魅力あふれる都心の形成	

- ・臨海部の大規模未利用地の活用等による複合的な都市施設の整備と産業の再活性化
- ・内陸部の丘陵地や市川、夢前川流域における豊かな自然資源を活かした交流・レクリエーションゾーンの整備

(4) 西播磨地域

- ・西播磨テクノポリス地域の拠点都市である播磨科学公園都市の整備の推進
- ・西播磨テクノポリス地域の副母都市である相生市、龍野市、赤穂市における都市機能の適切な分担と有機的な連携を前提とした都市整備の推進
- ・瀬戸内海国立公園等周辺の自然環境保全への配慮及び歴史的なまちなみ、文化財の保護、都市景観の修景

(主要フレーム)

(単位：千人)

	12 年	17 年
人 口	1,755	1,810
就 業 者	783	796
1 次	19	19
2 次	311	311
3 次	453	466

(主要事業)

- ・住宅用地：土地区画整理事業－阿保、大久保駅前
市街地再開発事業－東仲ノ町
- ・産業団地：ひょうご情報公園都市、加西東産業団地の整備
播磨科学公園都市を中心としたサテライト産業団地の整備
- ・道 路：中国横断自動車道姫路鳥取線、神戸西バイパス、東播磨南北道路、東播丹波連絡道路の整備
- ・鉄軌道：神戸電鉄粟生線の複線化推進
西日本旅客鉄道加古川線の電化・高速化推進、姫新線の電化・高速化の検討
神戸市営地下鉄西神延伸線の再延伸の検討
- ・港 湾：特定重要港湾姫路港、重要港湾東播磨港、地方港明石港、相生港の整備
姫路ポートネットワーク21、相生港マリタウンプロジェクトの推進
- ・空 港：播磨飛行場の調査検討
- ・公 園：県立三木総合防災公園、県立播磨中央公園の整備
- ・教育文化施設：明石生涯学習センター〔仮称〕、高砂市立図書館、県立武道館〔仮称〕、新宮宮内遺跡史跡公園の整備
- ・医療施設：姫路赤十字病院、西脇市立西脇病院の整備

(計 画 名)	奈良地区近郊整備区域建設計画（案）
(策 定 主 体)	奈 良 県
(計画の基本的方向) 本地区は豊富な文化遺産や恵まれた自然環境を背景として多くの観光客が訪れているが、多様化する観光客の需要に十分対応しきれていない状況にあり、さらに高速性のある幹線交通網及びそれへのアクセス交通網が整っていないなどの課題を抱えている。 このため、今後の本地区の整備にあたっては、本県の持つ豊富な歴史・文化・自然などを活用して、より個性的、より魅力的な地域づくりを目指し、広域的な交流の活発化が図れるよう、情報発信機能の充実を図るとともに、次のような整備を進めていく。 ○ 世界遺産などの文化遺産等と奈良県立万葉文化館等の施設とを結ぶネットワークを整備し、歴史街道のルート形成を図るとともに、観光資源の発掘・創出による観光交流機会の拡大に努め、我が国や世界の人々が、本県を心のオアシスと感じ・訪れ・集う「関西の憩いのオアシス」の形成を進める。 ○ 西暦2010年の平城遷都1300年に向け、平城京の区域を中心に「歴史体感」「文化創造」「国際交流」を基本コンセプトとする「歴史・文化国際交流ゾーン」の整備計画を策定し記念事業の推進を図る。 ○ 交流・連携強化を考慮しつつ、「なら・半日交通圏道路網構想」の実現を目指し、京奈和自動車道の整備をはじめとした幹線道路網の整備を図るとともに、市街地での渋滞対策や、奈良らしさを活かした沿道景観の整備を進める。 (地域別の基本的方向) (1) 大和平野地域 県全体の先導的な役割を担う地域としての発展を図ることを基本とし、奈良市を中心とする北部地域においては、関西文化学術研究都市の建設をはじめ、中央新幹線構想の推進や、京阪奈新線の整備を推進する。 また、急速に都市化が進んできた本地域においては、交通混雑や水質汚濁等の都市化の弊害が顕在化しており、これらに対応し、快適で豊かな県民生活を確保できるよう、住宅、公園、下水道及び河川環境の整備に努める。	

(2) 大和高原地域

名阪国道や近鉄大阪線による都市との近郊性を生かし、住宅系、工業系等各機能のバランスに配慮した複合的な地域振興策を展開することにより、魅力と活力に満ちた地域社会の形成を図る。

(3) 五條・吉野地域

吉野熊野国立公園に隣接する本地域においては、東海南海連絡道構想を推進するとともに、京奈和自動車道、五條新宮道路等の幹線道路の整備を推進し、歴史・文化資源や温泉等地域の資源を活かした観光・保養・レクリエーション拠点の形成を図る。

(主要フレーム)

(単位：千人、%)

	12 年	17 年
人 口	1,341	1,388
就 業 者	483(100)	514(100)
第 1 次産業	18(4)	16(3)
第 2 次産業	142(29)	144(28)
第 3 次産業	323(67)	354(69)

(主要事業)

宅 地：JR奈良駅周辺土地区画整理事業 等

道 路：京奈和自動車道、南阪奈道路、五條新宮道路、中和東幹線、学研都市連絡道路等の整備

JR奈良駅付近連続立体交差事業

東海南海連絡道構想の推進 等

鉄 軌 道：京阪奈新線の整備

超電導磁気浮上式リニアモーターカーによる中央新幹線の実現に向けた検討

公園緑地：馬見丘陵広域公園等の整備

下 水 道：大和川上流、宇陀川、吉野川流域下水道事業の推進

河 川：大和川清流ルネッサンス21計画の推進 等

ダ ム：大滝ダムの建設

そ の 他：新県立図書館の整備

1300年記念事業への取組

(計 画 名)	和歌山区域都市開発区域建設計画（案）
(策定主体)	和 歌 山 県
(計画の基本的方向) 「開かれた和歌山」「新しいふるさとの創造」を基本的な考え方として、本区域では、京阪神都市圏等との機能分担を視野に入れた広域的な交流連携を促進し、「世界都市」近畿圏の南の中核拠点地域として高次都市機能の集積による広域的な都市圏の形成を目指す。 そのため、県境を越えて一体化できる取組を積極的に推進し、優先順位付け等による効果が大きい社会資本整備など、本区域の構造改革を推進する。 (1) 開かれた和歌山を実現する交通・情報通信ネットワークの形成 ・ 関西圏の外郭環状を形成する京奈和自動車道及び紀伊半島を周遊し、国土軸と直結する近畿自動車道紀勢線をはじめ、県境を越え、交流連携を強化する第二阪和国道及び大阪橋本道路等の幹線的な交通網の整備を促進する。 ・ 南北に貫く大動脈である西日本旅客鉄道紀勢本線等の高速化・利便性の向上及び新在直通化（フリーゲージトレインの導入）の検討を進める。 ・ 大阪湾ベイエリアの玄関口かつ陸上交通の一大結節点にある和歌山下津港及び日高港については、陸海一体の高度な複合物流拠点として、多目的国際ターミナル等の整備を推進する。 ・ I T革命社会に対応し、黒潮ネットワークの活用等による高度情報通信ネットワーク整備を推進する。 (2) 環境と調和した高次都市機能の集積促進と産業の活力創造 ・ 関西国際空港との近接性を生かした学術・研究機能、良好な居住機能及びレクリエーション機能等の高次な都市機能の集積を図る。 ・ 豊かな自然環境との調和を重視し、下水道整備などの快適な生活環境整備に努める。 ・ I Tをはじめ先端技術産業の導入・集積を促進するとともに、スタートアップオフィスの整備や人材の育成等による新事業創出及び地域産業の高度化・高付加価値化の推進により、経済の構造改革を推進する。 ・ 「果樹王国和歌山」の確立のための基盤整備や果実等の高品質化・ブランド化により、生産機能の向上と高付加価値化を図る。 (3) 安らぎを与える観光・リゾート機能と防災機能の強化 ・ 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録も視野に入れながら、関西国際空港及び大都市への近接性、恵まれた自然及び歴史・文化資源を生かした観光・リゾート振興に努める。 ・ 地震や風水害などの自然災害等に総合的に対処するため、災害に強いまちづくりを目標に、防災施設等の整備を推進する。	

(地域別の基本的方向)

- (1) 和歌山地域については、関西国際空港の至近距離にある中核圏域として高次都市機能の集積による国際交流都市圏の形成を図る。
- (2) 橋本地域については、県東部の近隣府県を含めた中心地域、地方拠点都市地域として、快適な居住文化エリア、ハイアメニティ・タウンの形成を図る。
- (3) 有田地域については、高速道路等を活用した産業の集積と農業等のブランド化の促進や保健・医療施設等の充実によりゆとりある生活空間を形成する。
- (4) 御坊地域については、交通ネットワーク、物流基盤及び工業用地の整備と野菜・花き栽培等の振興により、自立発展圏の形成を目指す。

(主要フレーム)

(単位:千人、%)

	1 2 年	1 7 年
人 口	781	772
就業者	385	375
1 次	34(8.8)	31(8.4)
2 次	108(28.1)	94(25.0)
3 次	243(63.1)	250(66.6)

(主要事業)

- ・宅地等：橋本林間田園都市
- ・道 路：近畿自動車道紀勢線（御坊南部間、海南吉備間、吉備御坊間等）、京奈和自動車道（橋本道路、紀北東道路、紀北西道路）、第二阪和国道、大阪橋本道路、府県間道路（泉佐野岩出線、国道480号）等
太平洋新国土軸及び関西圏の三つの環状道路の要となる紀伊淡路連絡道路(紀淡連絡道路)について、所要の調査を行うなど構想の推進
- ・鉄 道：西日本旅客鉄道紀勢本線の高速化、和歌山線等の利便性向上
紀勢本線へのフリーゲージトレイン導入等の検討推進
阪和線と南海電気鉄道本線による関西国際空港へのアクセス充実
- ・港 湾：特定重要港湾和歌山下津港、重要港湾日高港
- ・公園緑地：紀の川緑地、和歌公園、隅田A緑地
- ・ダム等：紀の川大堰、紀伊丹生川ダム
- ・下水道：紀の川流域下水道(伊都処理区)、紀の川中流流域下水道(那賀処理区)
- ・教育文化施設：和歌山大学
- ・通信施設：和歌山県高度情報通信ネットワーク（黒潮ネットワーク）
- ・医療施設：県立五稜病院
- ・社会福祉施設：由良あかつき園

